

令和5年度 もり・みず市民事業支援補助金 交付申請書類 記入例

交付申請書チェックリスト	1
水源環境保全・再生市民事業支援補助金交付申請書(第1号様式)	3
役員等氏名一覧表(第2号様式)	4
事業計画書【森林の保全・再生】(第3号様式)	5
事業計画書【間伐材の利活用促進事業】(第4号様式)	7
事業計画書【河川・地下水の保全・再生事業・その他の特別対策事業(水環境モニタリング以外)】 (第5号様式)	9
事業計画書【その他の特別対策事業(水環境モニタリング)】(第6号様式)	11
事業計画書【普及啓発・教育事業】(第7号様式)	13
事業計画書【調査研究事業】(第8号様式)	15
事業計画書【資機材の購入】(第9号様式)	17
事業収支予算書(第10号様式)	18
事業収支予算書支出内訳(任意様式)	19
団体調書(第11号様式)	20

様式	内容	チェック	備考
20	部門及び申請区分が正確に記載されているか。	✓	
21	各部門・事業に応じた補助率・補助上限額となっているか 【スタンドアップ部門】 <森林>: 10/10 整備面積に応じ、①1ha未満:10万円、②1ha以上3ha未満:30万円、③3ha以上:50万円 <間伐、河川・地下水、その他>: 10/10 上限50万円 <普及>: 1/2 上限20万円 <調査>: 1/2 上限50万円 <資機材(森林、間伐、河川・地下水、その他)>: 10/10 上限20万円(過去からの補助累計額) <資機材(普及・調査)>: 1/2 上限20万円(過去からの補助累計額) 【スキルアップ部門】 <森林>: 8/10 整備面積に応じ、①1ha未満:20万円、②1ha以上3ha未満:60万円、③3ha以上:100万円 <間伐、河川・地下水、その他>: 8/10 上限100万円 <普及>: 1/2 上限40万円 <調査>: 1/2 上限100万円 <資機材(森林、間伐、河川・地下水、その他)>: 8/10 上限50万円(過去からの補助累計額) <資機材(普及・調査)>: 1/2 上限20万円(過去からの補助累計額)	✓	スキルアップ部門 森林整備面積: ●●ha
22	予算は、定められた費目で計上されているか。	✓	
23	予算には、事業実施箇所の土地所有者に対する謝礼・地代は含まれていないか。	✓	所有者に対する謝礼は自主財源で賄う
24	補助金額は、千円未満切捨てとなっているか。	✓	
25	収支差額は0円となっているか。	✓	
26	詳細な支出内訳(別紙)が添付されているか。	✓	
27	資機材については、積算根拠書類(見積書、カタログ等)が添付されているか。	✓	カタログを添付
28	チェンソーや刈払機の燃料代等について、Q&Aに沿った金額となっているか。そうでない場合は、違う理由や積算根拠を示しているか。	✓	別紙参照
29	チェンソーや刈払機の購入について、団体の会員規模に応じた台数の申請となっているか。	✓	
30	講師謝礼等を計上している場合、支払相手先は会員ではないか(会員への報酬支払いは補助対象外、場合により会員名簿の提出を求めています)。	✓	
31	単価が5万円以上の用品を「物品費」で計上していないか。	✓	
32	連絡先に窓口担当者が記載されているか(日常的に連絡がとれ、書類の送付先として適当か)。	✓	
33	年間予算は申請年度の予算が記載されているか。	✓	
34	年間予算の収支は一致しているか。	✓	
35	他の補助金の申請状況が正確に記載されているか。	✓	
36	県から他の補助金、水源税を財源とした委託等を受けていないか。	✓	

記入例

※この書類は公開されます

第1号様式(用紙 日本産業規格 A4縦長型)

申請書の提出日を記入。

令和●年度水源環境保全・再生市民事業支援補助金交付申請書

代表者印等押印は不要。

●●年●月●日

神奈川県知事殿

団体名称、代表者役職は、定款・規約に定める正式名称を記入。

申請者 住 所 _____
 郵便番号 _____
 団体名称 _____
 代表者役職・氏名 _____

申請する部門の口を塗りつぶす。

令和●年度水源環境保全・再生市民事業支援補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請部門	申請する部門の口を黒く塗りつぶしてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 市民事業スタンドアップ部門 <input type="checkbox"/> 市民事業スキルアップ部門 (
申請区分	申請する区分の口を黒く塗りつぶしてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 森林の保全・再生事業 <input type="checkbox"/> 間伐材の利活用促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 河川・地下水の保全・再生事業 <input type="checkbox"/> その他の特別対策事業 <input type="checkbox"/> 普及啓発・教育事業 <input type="checkbox"/> 調査研究事業 <input checked="" type="checkbox"/> 資機材の購入	
事業の概要	●●●●● 補助申請する事業の目的・内容を簡潔かつ具体的に記入。	申請年度の期間内(4月1日から翌年3月31日)で、事業を実施する期間を記入。
事業の着手及び完了予定期日	着手日 _____年____月____日から 完了日 _____年____月____日まで	※事業実施にかかる準備期間及び精算期間も含まれます。
交付申請額	××, 000円	
申請区分間の経費配分	申請区分	交付申請額
	森林の保全・再生事業	×, 000円
	間伐材の利活用促進事業	×, 000円
	河川・地下水の保全・再生事業	×, 000円
	その他の特別対策事業	×, 000円
	普及啓発・教育事業	×, 000円
	調査研究事業	×, 000円
	資機材の購入	×, 000円
	計	××, 000円
交付申請額の積算方法	別添事業収支予算書のとおり	
神奈川県知事に申請する又は交付を受けている補助金等	有 () ・ 無 () ※有の場合、補助金等の名称を記載	
	上記の補助金等と当申請事業の内容や経理にかかる区分の有無 有 (区分されている) ・ 無 (区分されていない)	
継続希望期間	補助の継続を希望する場合は、希望する期間を記載してください。 (継続希望期間) ●●年度まで	

複数の事業を申請する場合は、該当事業すべての口を塗りつぶす。

「交付申請額」と経費配分の「計」欄が同額となるよう記入。

該当項目を○で囲み、必要事項を記入。

申請額は千円未満切捨。

無の場合、下段の区分の有無にかかる記載は不要です。

継続希望期間を記入。1つの申請区分につき、最長5年(ただし令和8年度まで)です。

第2号様式（用紙 日本産業規格 A4縦長型）

法人格の有無にかかわらず、申請にあたっては必ず提出してください。

役員等氏名一覧表

原則、申請日 ●●年●月●日 現在の役員

役職名	氏名	氏名のカナ	生年月日 (大正T, 昭和S, 平成H)	性別 (男・女)	住所
代表者 理事長	●● ●●	●● ●●	T ⑤ H xx. x. x	男	△△市△△1-1
副理事長	●● ●●	●● ●●	T ⑤ H xx. x. x	女	△△市△△1-2
副理事長	●● ●●	●● ●●	T ⑤ H xx. x. x	女	△△市△△1-3
理事	●● ●●	●● ●●	T ⑤ H xx. x. x	男	△△市△△1-4
			T S H . .		
			T S H . .		
			T S H . .		
			T S H . .		
			T S H . .		
			T S H . .		

法人登記簿に記載されている役員全員を記載。
法人格を持たない任意団体は、団体代表者のみ記載。

第1号様式に記載した正式名称を記入。

記載された全ての者は、代表者又は役員に暴力団員がないことを確認するため、本様式に記載された情報を神奈川県警察本部に照会することについて、同意しております。

団体名 特定非営利活動法人●●の会
代表者氏名 ■■ ■■

押印不要です

記入例（森林の保全・再生事業）

※この書類は公開されます。

第3号様式(用紙 日本産業規格 A4縦長型)

申請する部門の口を塗りつぶす。

事業計画書 【森林の保全・再生事業】

第1号様式に記載した正式名称を記入。

団体名	特定非営利活動法人 ●●の会
申請部門	<input checked="" type="checkbox"/> 市民事業スタンドアップ部門 <input type="checkbox"/> 市民事業スキルアップ部門
事業名 事業名を記入	●●●●事業 <input type="checkbox"/> 継続（申請年度の前年度に当該補助金を受けた事業である場合は黒く塗りつぶしてください。）
実施期間	令和●年●月●日～令和●年●月●日（計 ●回活動）
実施場所※	●●市●● — 実施場所が複数箇所にわたる場合はすべての場所を記入
整備面積(予定)	●ha（詳細は、別添の図面を参照）
樹種	<input checked="" type="checkbox"/> 針葉樹 <input type="checkbox"/> 広葉樹 <input type="checkbox"/> 竹 <input type="checkbox"/> その他（延べ人数で記入。）
参加者数(見込)	会員(●●)人 一般参加者等(●●)人 計(●●)人
資機材購入希望	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有(第9号様式に記載のとおり) — 希望の有無を記入。

実施期間は、第1号様式と同じ期間を記入。活動回数が未定の場合は、予定回数を記入。

該当樹種すべての口を塗りつぶす。

整備(予定)面積を数値で記入。

※ 実施場所は、位置図・写真を添付すること。

実施場所の概略(目印となる施設が記されたもの)及び詳細がわかる位置図をそれぞれ添付
実施箇所が他人の土地や行政等が管理している土地の場合は、地権者や管理者の同意状況が分かる書類を添付。

(1) 事業目的

事業を実施する必要性や意義などを具体的に記入してください。

●●市の●●地区の森林は水源の森林づくりエリアにあるものの、まだ●●の理由により水源の森林づくり事業が実施されておらず、また所有者による手入れもなされていないため、荒廃が進んでいる。そこで、都市住民が森林整備を通し、森林の重要性に気づくこと、我々の活動により地域の活性化に繋がること、更に部分的ではあるが森林整備により水源かん養機能が向上することを目的に間伐等の森林整備を実施する。

どこで地域で活動するのか、その地域の森林の現況、荒廃しているのであればその理由、その地域で森林を整備することの必要性、周知・広報に資する取組などを具体的に記入

(2) 事業内容

申請事業の具体的内容、実施時期、やり方について

補助事業の実施内容、スケジュール、整備面積を、具体的に記入

●●町●●地区の●●haの森林(スギ・ヒノキの人工林)で、木の生長を阻害する下草を刈り、間伐・枝打ち等を実施するとともに、混交林化を目指して広葉樹の苗木を植樹する。活動は原則として毎月第●土曜日に行う。

名称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
下刈	●月～●月・●回	●●人	下草を必要最低限刈る(●ha)	
間伐・枝打	●月～●月・●回	●●人	列状間伐により間伐(●ha)	
植樹	●月～●月・●回	●●人	●●の苗木を植樹(●ha・●本)	

(3) 水源環境の保全・再生への効果（アウトカム）

事業を実施することで、水源環境の保全・再生にもたらす効果があるか、現状と目指す姿に触れつつ具体的に記入してください。

（例1）水源環境の保全・再生には、単に森林整備による水源かん養機能の向上だけではなく、森林が育む水の大切さを県民一人ひとりが理解し、多くの県民が水源環境の保全・再生に関わることで、将来にわたる良質な水の確保につながるものとする。

（例2）私たちの団体が事業を実施することで、手入れのされていない森林の水源かん養機能の向上が図られ、事業に参画する都市住民が森林の持つ多面的機能や重要性を認識することができる。

その地域の森林を整備することで、どのような好影響が生じているかといったことや、活動している姿を見てもらうことで、どのような効果が期待できるかといったことを記入

(4) これまでの活動実績

直近3年程度の活動内容・回数・参加者等について記入してください。

これまでに申請事業を実施した年数・活動日数、活動内容、参加者数等を記入

当事業は●年●月に始まり、これまでに●回実施され、延べ●人が参加するなど、参加者からも好評を得ている。毎年の主な作業内容は次のとおりである。

名 称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
間伐・枝打	●月～●月・●回	●●人	列状間伐により間伐(●ha)	毎月第●土曜日
植樹	●月～●月・●回	●●人	●●の苗木を植樹(●ha・●本)	毎月第●土曜日

(5) 今後の展開

申請対象年度以降の活動について、部門ごとに下記の視点から記入してください。

①市民事業スタンドアップ部門(将来にわたり継続して実施するための工夫。申請事業の今後の広がりや深まりを高める工夫。)

②市民事業スキルアップ部門(これまでの経験を活かしたスキルアップや自立化に向けた自主財源確保の工夫。申請事業の広がり等の工夫に加え、他分野の活動や他の地域等に与える効果。)

【数年後の目標】

〔スタンドアップ部門の場合〕3年後を目途にチェーンソー等機械を用いた森林整備を行っていきたい。また、この事業を発展させ、都市住民を招いての森林体験イベントの企画も検討していききたい。

〔スキルアップ部門の場合〕CSR活動の受入等を通じて企業の協賛金を募るなど、自主財源の確保に努めていくとともに、今後は隣接地域で活動する団体と連携した事業も模索していききたい。

【目標達成のためのアクション】

〔スタンドアップ部門の場合〕機械を用いた森林整備に向けて、安全講習の受講者を増やすとともに、森林体験イベントの企画に向け、市や近隣で活動する団体とのネットワークを構築していく。

〔スキルアップ部門の場合〕市のNPOセンターのイベントに参加することなどにより、ネットワークを構築し、隣接地域で活動する団体との連携や企業のCSRの受入につなげていく。

(6) 安全面・県民へのPR

申請事業に対する安全面への配慮(講習会の受講、安全装備、保険への加入など)や申請事業の内容や成果を県民に広くPRする方法について記入してください。

【安全面への配慮】

今年度、安全研修の受講を予定している。また、ヘルメット等の安全装備を備え、保険に加入するなど、安全には十分配慮して事業を実施する予定である。

【県民へのPR方法】

事業実施の際は、チラシやホームページで一般参加を募るなどしていくが、その際、水源環境保全・再生施策の事業であることも併せて県民へのPRを行っていくとともに、地域の行事等の機会も活用し、活動の成果をPRしていく。

記入例（間伐材の利活用促進事業）

※この書類は公開されます。

第4号様式（用紙 日本産業規格 A4縦長型）

申請する部門の□を塗りつぶす。

事業計画書 【間伐材の利活用促進事業】
第1号様式に記載した正式名称を記入。

団体名	特定非営利活動法人 ●●の会		
申請部門	<input checked="" type="checkbox"/> 市民事業スタンドアップ部門	<input type="checkbox"/> 市民事業スキルアップ部門	
事業名	●●●●事業		
事業名を記入	実施期間は、第1号様式と同じ期間を記入。活動回数が未定の場合は、予定回数を記入。		
	<input type="checkbox"/> 継続（申請年度の前年度に当該補助金を受けた事業である場合は黒く塗りつぶしてください。）		
実施期間	令和●年●月●日～ 令和●年●月●日（計 ●回活動）		
実施場所※	●●市●●	実施場所が複数地域にわたる場合はすべての場所を記入。	
間伐の内容	材の種類 ●●、●●	搬出量 ●●m ³	間伐する予定の材の種類と搬出量を記入。
参加者数(見込)	会員(●●)人	一般参加者等(●●)人	計(●●)人
資機材購入希望	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有(第9号様式に記載のとおり)		延べ人数で記入。
	希望の有無を記入。		

※実施場所は、位置図・写真を添付すること。

実施場所の概略（目印となる施設が記されたもの）及び詳細がわかる位置図をそれぞれ添付
実施箇所が他人の土地や行政等が管理している土地の場合は、地権者や管理者の同意状況が分かる書類を添付。

(1) 事業目的

事業を実施する必要性や意義などを具体的に記入してください。

搬出に要する経費が材の価格を上回るため、林内には多くの間伐材が放置されている。このままでは森林循環が図られないことから、林内に放置されている間伐材を利活用することで、森林循環を促すと同時に、森林の大切さやその森林を手入れすることの必要性を県民に伝えていくことを目的とする。

活動予定地域における間伐状況や伐採した樹木の現況、それに関連して生じる課題や問題、解決するための方策、団体の活動の周知・広報に資する取組などを具体的に記入

(2) 事業内容

申請事業の具体的内容、実施時期、やり方について、数値を入れるなどして具体的に記入してください。

●●市●●地区の●●haの森林の整備により発生する●●の間伐材●●m³の間伐材の集材・搬出・加工を実施する。林内においては、植生保護柵や土壌流出防止のための丸太筋工を製作、設置する。また、登山者が休憩できるよう、ポイントごとにベンチを作成する。搬出した材については、炭焼きやシイタケのホダ木を作り、販売することで、団体の自主財源の確保にも繋げていく。

名称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
植生保護柵・丸太筋工の製作・設置	●月～●月・●回	●●人	●●作業、●●作業	毎月第●土曜日
ベンチ製作	●月～●月・●回	●●人	●●作業、●●作業	毎月第●土曜日
炭焼き・シイタケのホダ木づくり	●月～●月・●回	●●人	●●作業、●●作業	毎月第●土曜日

補助事業の実施内容(間伐材の具体的な活用方法)、スケジュール、間伐する予定の材の種類と搬出量を、具体的に記入

(3) 水源環境の保全・再生への効果事業を実施することで、水源環境が具体的に記入してください。

その地域において間伐材の利活用を促進することで、どのような好影響が生じると考えているかといったことや、活動している姿を見てもらうことで、どのような効果が期待できるかといったことを記入

(例1) 間伐後、林内に放置される事が多かった木材の有効利用を図ることで、森林循環による持続的な森林管理や、健全な森林の育成に寄与できるなど、水源環境の保全・再生に資する効果が期待できる。

(例2) 植生保護柵や丸太筋工の設置により、水源かん養機能をはじめとする森林の公益的機能の向上が期待できるほか、ベンチを作成することで登山者が休憩できる場所が確保でき、森林のレクリエーション機能を高める効果も期待できる。

(例3) 炭焼きやシイタケのホダ木の作成販売を通じて、森林や手入れの大切さについて県民への意識啓発に貢献でき、団体の財政基盤を強化し、自立的な活動を進めることにも資する。

(4) これまでの活動実績

直近3年程度の活動内容・回数・参加者等について記入してください。

当事業は●年●月に始まり、これまでに●回実施され、延べ●人が参加し、参加者からも好評を得ている。毎年主な活動実績は次のとおりである。

名称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
ベンチ製作	●月～●月・●回	●●人	●●作業	毎月第●土曜日
炭焼き・ホダ木づくり	●月～●月・●回	●●人	●●作業	毎月第●土曜日

(5) 今後の展開

申請対象年度以降の活動について、部門ごとに下記の視点

①市民事業スタンドアップ部門(将来にわたり継続して実施し、取り組みを深めたりや深まりを高める工夫。)

②市民事業スキルアップ部門(これまでの経験を活かしたスキルアップや自立化に向けた自主財源確保の工夫。申請事業の広がり等の工夫に加え、他分野の活動や他の地域等に与える効果。)

これまでに申請事業を実施した年数・活動日数。活動内容、主な間伐材の利活用実績、参加者数等を記入。

【数年後の目標】

〔スタンドアップ部門の場合〕将来的には●●の作成も行なうなど、事業の内容を深めていきたい。

〔スキルアップ部門の場合〕搬出・加工した材を販売することで自主財源を確保し、団体の自立化を進めていきたい。今後は隣接地域で活動する団体と連携した事業も模索していきたい。

【目標達成のためのアクション】

〔スタンドアップ部門の場合〕外部講師を招くなど、●●作成を見据えた●●技術の習得・向上に努めていく。

〔スキルアップ部門の場合〕自主財源確保のため材の販売方法等について、先行事例の把握に努め、●●年●●月を目途に●●の試験的な販売を行なうとともに、隣接地域で活動する団体とのネットワーク構築を図っていく。

(6) 安全面・県民へのPR

申請事業に対する安全面への配慮(講習会の受講、安全装備、保険への加入など)や申請事業の内容や成果を県民に広くPRする方法について記入してください。

【安全面への配慮】

今年度、安全研修の受講を予定している。また、チャップス等の安全装備を備え、保険に加入するなど、安全には十分配慮して事業を実施する予定である。

【県民へのPR方法】

事業実施の際は、チラシやホームページで一般参加を募るなどしていくが、その際、水源環境保全・再生施策の事業であることも併せて県民へのPRを行っていくとともに、地域の行事等の機会も活用し、活動の成果をPRしていく。

記入例（河川・地下水の保全・再生事業・その他の特別対策事業）

※この書類は公開されます。

第5号様式(用紙 日本産業規格 A4縦長型)

申請する部門の□を塗りつぶす

事業計画書 【河川・地下水の保全・再生事業・その他の特別対策事業】

第1号様式に記載した正式名称を記入

団体名	特定非営利活動法人 ●●の会		
申請部門	<input checked="" type="checkbox"/> 市民事業スタンドアップ部門	<input type="checkbox"/> 市民事業スキルアップ部門	
事業名	●●●●事業		
実施期間	令和●年●月●日～ 令和●年●月●日 (計 ●回活動)		
実施場所※	●●市●●		
参加者数(見込)	会員(●●)人	一般参加者等(●●)人	計(●●)人
資機材購入希望	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有(第9号様式に記載のとおり)		

事業名を記入

実施期間は、第1号様式と同じ期間を記入
活動回数が未定の場合は、予定回数を記入

実施場所が複数地域にわたる場合はすべての場所を記入

延べ人数で記入

希望の有無を記入

※ 実施場所は、位置図・写真を添付すること。

- (1) 実施場所の概略(目印となる施設が記されたもの)及び詳細がわかる位置図をそれぞれ添付
実施箇所が他人の土地や行政等が管理している土地の場合は、地権者や管理者の同意状況が分かる書類を添付
事業を実施する必要性や意義などを具体的に記入してください。

●●市では、「河川における直接浄化対策」として●●川に浄化ブロックを設置しているが、台風等の大雨の後には、ゴミ等が付着し、その除去に時間を要している。そこで、我が団体が定期的に浄化ブロックや周辺の河川環境の清掃を行うことで、河川における自然浄化機能が発揮されることを目的とする。

活動予定地域における河川(地下水)の現況、課題として認識している事項、課題が生じている理由、保全・再生を実施することの必要性、周知・広報に資する取組などを具体的に記入

(2) 事業内容

申請事業の具体的内容、実施時期、やり方について、数値を具体的に記入

補助事業の実施内容やスケジュールを、具体的に記入

●●市●●地区の浄化ブロック及び、周辺の河川環境の清掃。
当会メンバーから●●の説明を実施。その後、参加者●人につき1人のスタッフを配置し、河川環境の清掃作業を通じて、環境保全と参加者の意識の向上を図る。作業時間は、●時間程度を予定。

名称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
事前準備	●月～●月・●回	●●人	●●市等関係機関との打ち合わせ	
●●作業	●月～●月・●回	●●人	●●を使用し、●●の清掃を行う	毎月第●土曜日
●●作業	●月～●月・●回	●●人	●●周辺の河川環境の清掃	毎月第●土曜日

(3) 水源環境の保全・再生への効果（アウトカム）

事業を実施することで、水源環境の保全・再生にもたらす効果があるか、現状と目指す姿に触れつつ具体的に記入してください。

●●市では、●●年度から河川における直接浄化対策（●●）を実施しているが、ゴミが溜まるなど、行政の取組だけでは限界があり、施策の効果が損なわれている現状がある。そこで、行政が実施しているゴミの除去作業に我が団体が加わり、協働して取組を実施する。同時に、周辺の河川環境の整備を行うことにより、水源環境の保全に協働して取り組む一つの形を示すことができると考える。

その地域の河川（地下水）の保全・再生を実施することで、どのような好影響が生じると考えているかといったことや、活動している姿を見てもらうことで、どのような効果が期待できるかといったことを記入

(4) これまでの活動実績

直近3年程度の活動内容・回数・参加者等について記入してください。

当事業は●年●月に始まり、これまでに●回実施され、延べ●人が参加し、参加者からも好評を得ている。毎年の主な活動実績は次のとおりである。

名称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
●●作業	●月～●月・●回	●●人	●●を使用し●●の清掃を行う	毎月第●土曜日

(5) 今後の展開

申請対象年度以降の活動について、部門ごとに

これまでに申請事業を実施した年数・活動日数、活動内容、参加者数等を記入

- ①市民事業スタンドアップ部門（将来にわたり継続して実施するための工夫。申請事業の今後の広がりや深まりを高める工夫。）
- ②市民事業スキルアップ部門（これまでの経験を活かしたスキルアップや自立化に向けた自主財源確保の工夫。申請事業の広がり等の工夫に加え、他分野の活動や他の地域等に与える効果。）

【数年後の目標】

〔スタンドアップ部門の場合〕事業を継続的に実施していくため、市や地元住民を巻き込んで事業を展開していく。

〔スキルアップ部門の場合〕将来は市民による河川の自然浄化対策を実施していくとともに、複数の収入源を確保することで、財政基盤を安定させるとともに、この事業がモデルケースとなり、他の地域へ波及していくことを目指す。

【目標達成のためのアクション】

〔スタンドアップ部門の場合〕市や地元住民を巻き込んで活動を展開していくため、市と協議を重ねていくとともに、イベント等を通じて当会の活動を広くPRし、賛同者の増加を図っていく。

〔スキルアップ部門の場合〕市民による河川の自然浄化対策の実施に向けて、市や関係団体等と協議を重ねていくとともに、複数の収入源を確保するため、市民や企業からの寄付金を募る。

(6) 安全面・県民へのPR

申請事業に対する安全面への配慮（講習会の受講、安全装備、保険への加入など）や申請事業の内容や成果を県民に広くPRする方法について記入してください。

【安全面への配慮】

参加者に対し、安全に対する意識付けを行なうとともに、十分な数のスタッフを配置する。また、安全装備を備え、保険に加入するなど、安全には十分配慮して事業を実施する予定である。

【県民へのPR方法】

チラシやホームページ、タウン紙等で水源環境保全・再生施策の事業であることも積極的に広報を行うとともに、事業実施結果をホームページなどで広報するとともに、地域の行事等の機会も活用し、活動の成果をPRしていく。

記入例 その他の特別対策事業（水環境モニタリング）

※この書類は公開されます。

第6号様式(用紙 日本産業規格 A4縦長型)

申請する部門の□を塗りつぶす	事業計画書【その他の特別対策事業（水環境モニタリング）】	第1号様式に記載した正式名称を記入
団体名	特定非営利活動法人 ●●の会	
申請部門	<input checked="" type="checkbox"/> 市民事業スタンドアップ部門 <input type="checkbox"/> 市民事業スキルアップ部門	
事業名	●●●●事業 <input type="checkbox"/> 継続（申請年度の前年度に当該事業を受けた事業である場合は無く塗りつぶす）	事業名を記入 実施期間は、第1号様式と同じ期間を記入 活動回数が未定の場合は、予定回数を記入
実施期間	令和●年●月●日～ 令和●年●月●日（計 ●回活動）	
実施場所※	●●市●● 実施場所が複数地域にわたる場合はすべての場所を記入	
参加者数(見込)	会員(●●)人 一般参加者等(●●)人 計(●●)人 延べ人数で記入	
資機材購入希望	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有(第9号様式に記載のとおり) 希望の有無を記入	

※ 実施場所は、位置図・写真を添付すること。

- (1) 実施場所の概略（目印となる施設が記されたもの）及び詳細がわかる位置図をそれぞれ添付
 実施箇所が他人の土地や行政等が管理している土地の場合は、地権者や管理者の同意状況が分かる書類を添付

事業を実施する必要性や意義などを具体的に記入してください。

丹沢山地では、ニホンジカの過度の採食圧により、間伐等森林整備地においても、林床植生が回復しない状況がみられているため、県により整備地でのシカの捕獲が実施されている。県でも、効果測定のためのモニタリングを行っているが、その他の生物相への影響（効果）については、調査が実施されていない。そこで、本団体がシカ捕獲の行なわれている森林整備地等において●●の生息状況調査を実施し、水源林整備とシカ捕獲の一体的な取組みの、森林生態系に与える効果を検証することを目的とする。

その他の特別対策事業という分類なので、事業を実施する必要性や意義だけではなく、団体が実施を予定している事業が、県の特別対策事業に類することについても記載

- (2) 事業内容
 調査テーマ、調査方法、実施スケジュールについて具体的に記入してください。

〔調査テーマ〕

丹沢山地●●地区における人工林整備地におけるシカ密度と●●の多様度の関係

〔調査方法〕

現状の問題や課題の解決のための調査・研究内容、プロセスやスケジュールを記入

▲▲地区において、●●法により●●の生息状況調査を実施。シカ生息密度の異なる各調査地点に調査枠を▲▲個設置し、季節ごとに●●を捕獲し、種数、個体数を調べ、◆◆法により多様度を算出する。県で調査しているシカ生息密度調査結果との関係を××解析により分析し、森林整備下におけるシカ生息密度と●●の多様度の関係を考察する。

〔調査スケジュール〕

●月～●月 調査実施に向けた準備、調査地の設定。
 ●月～●月 現地調査実施
 ●月～●月 調査結果のとりまとめ、報告書作成

(3) 水源環境の保全・再生施策との関係（調査結果の活用）

調査を実施することで、水源環境の保全・再生に関する施策の効果測定にどのように寄与するか。または、新たな施策提案につながる現状把握ができるか、具体的に記入してください。

調査の実施により、現在県で実施している森林整備とシカ管理の一体的な取組について、森林生態系に与える効果を●●の視点から検証することが可能となり、県が調査している植生に関するモニタリング結果とあわせて、複数の分野から森林生態系に与える効果の検証を行うことができる。また、検証結果と県実施の各種調査結果を合わせて考察することで、現在行なっている施策が将来にわたる良質な水の安定的な確保につながるか検証する事も可能となる。

現状の問題点や課題とその解決に向けた調査研究による効果を中心に具体的に記入

(4) これまでの活動実績

直近3年程度の調査・研究実績等について記入してください。

本団体は、●●年に発足し、丹沢山地等で●●の研究を行ってきた▲▲大学◆◆研究室が中心となって活動している。代表者である××は、これまで、丹沢山地で●●の生息状況調査等を長年実施しており、丹沢大山総合調査（平成16年～平成17年）にも●●グループの調査員として参加した。また、××は丹沢大山自然再生委員会の委員として活動している。

【団体（代表者）の研究実績】

- ・丹沢山地における●●の生息密度に及ぼす◆◆の影響（2008, ●●学会誌）
- ・■■山地●●の生息密度と植生の関係（2010, ××研究）

これまでに申請事業を実施した年数・調査・研究内容、活動日数、参加者数、調査研究の成果、等を記入

(5) 調査研究のステップ

施策の効果測定等により有効な調査・研究成果とするために、申請対象年度以降どのような調査・研究が必要となるか。申請対象年度の調査・研究がどの段階のものであるかを踏まえて記入してください。

申請対象年度の調査結果から、傾向の把握と、効果測定に向けた調査結果の活用方法の妥当性については確認できると考えるが、丹沢山地で広く行なわれている施策の効果について普遍性のある結論を得るには、複数の条件化で同様の調査を行なう必要があると考える。申請対象年度で得られた調査結果を元に、森林整備内容や立地などの条件を変えて、申請対象年度以降も継続して同一方法による調査を実施して、検証を行いたい。また、丹沢大山自然再生委員会などを通じて、多分野の研究者と調査結果について情報交換を行うことで、●●以外の分野についても調査が実施され、多方面から森林生態系効果に関する検証が行われることを目指したい。

(6) 安全面・県民へのPR

申請事業に対する安全面への配慮（講習会の受講、安全装備、保険への加入など）や申請事業の内容や成果を県民に広くPRする方法について記入してください。

【安全面への配慮】

参加者に対し、安全に対する意識付けを行なうとともに、十分な数のスタッフを配置する。また、安全装備を備え、保険に加入するなど、安全には十分配慮して事業を実施する予定である。

【県民へのPR方法】

チラシやホームページ、タウン紙等で水源環境保全・再生施策の事業であることも積極的に広報を行うとともに、事業実施結果をホームページや地域の行事等の機会を活用しPRしていく。

記入例（普及啓発・教育事業）

※この書類は公開されます。

第7号様式（用紙 日本産業規格 A4縦長型）

申請する部門の口を塗りつぶす	事業計画書 【普及啓発・教育事業】	第1号様式に記載した正式名称を記入
団体名	特定非営利活動法人 ●●の会	
申請部門	<input checked="" type="checkbox"/> 市民事業スタンドアップ部門 <input type="checkbox"/> 市民事業スキルアップ部門	
事業名	●●●●事業 ■継続（申請年度の前年度に当該補助金を受けた事業である場合は黒く塗りつぶしてください。）	事業名を記入 実施期間は、第1号様式と同じ期間を記入。活動回数が未定の場合は、予定回数を記入。
実施期間	令和●年●月●日～ 令和●年●月●日（計 ●回活動）	
実施場所※	●●市●●小学校、●●ホール、●●川河川敷	実施場所が複数箇所にわたる場合はすべての場所を記入
事業実施に係るスタッフ数	(●)人（延べスタッフ数 ●人）	
事業の対象者（見込）	●●●●教室（●●）人 うち神奈川県民（●●）人 ●●●●学習会（●●）人 うち神奈川県民（●●）人 ●●イベント（●●）人 うち神奈川県民（●●）人	活動ごとにおおよその見込み数を記入。ここでいう「神奈川県民」とは神奈川県に在勤・在学する方を含む
資機材購入希望	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有（第9号様式に記載のとおり）	希望の有無を記入

※ 実施場所は、位置図・写真を添付すること。

実施場所の概略（目印となる施設が記されたもの）及び詳細がわかる位置図をそれぞれ添付
実施箇所が他人の土地や行政等が管理している土地の場合は、地権者や管理者の同意状況が分かる書類を添付。

(1) 事業目的

事業を実施する必要性や意義などを具体的に記入してください。

（例1）将来、森林ボランティアとして活動していただける人材を育成するため、森林保全に対する意識の向上及び●●を目的として、●●体験教室を実施する。

（例2）次世代を担う小中学生に水源環境の保全・再生の必要性を理解してもらい、●●するため、水源環境の現状と必要な対策についての学習会を開催する。

(2) 事業内容

申請事業の具体的内容、実施時期、やり方について、数値を入れるなどし
ださい。

補助事業の実施内容
やスケジュールを、
具体的に記入

当会で森林整備活動を行っている●●地区の森林にて、楽しみながら間伐作業が体験できるプログラムを実施する。

午前：当会メンバーから●●の説明を実施。その後、参加者●人につき1人のインストラクターを配置し、●●作業を行い、森林保全に対する意識の向上を図る。作業時間は、●時間程度を予定。

午後：間伐材を利用した●●づくりを実施する。

名称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
事前準備	●月～●月・●回	●●人	参加者募集、●●のための準備作業	
当日	●月●日・ ●月●日・2回	●●人 (1回●人)	上記のとおり	
振り返り	●月～●月・●回	●●人	実施結果をとりまとめ、●●による●●を行う。	

(3) 水源環境の保全・再生への効果（アウトカム）

事業を実施することで、水源環境の保全・再生にもたらす効果があるか、現状と目指す姿に触れつつ具体的に記入してください。

（例1）高齢化や減少傾向がある森林ボランティアの現状を踏まえ、森林ボランティアに携わる人材の育成と、水源環境保全・再生への取組についての意識醸成を図っていく。また、県民レベルで水源環境の保全・再生に取り組んでいく体制づくりを進めることで、県民主体の取組が推進できる効果が期待できる。

（例2）若い世代に水源環境への理解が進んでいない現状を踏まえ、学習会を実施し、小中学生へ普及啓発活動を行う。理解度テストやアンケートを実施することで、水源環境保全・再生の取組みへの理解を深めてもらう。それにより、将来にわたって県民参加のもとで、水源環境保全・再生の取組みを進めるための土壌づくりを行う。

(4) これまでの活動実績

直近3年程度の活動内容・回数・参加者等について記入して

これまでに申請事業を実施した年数・活動日数、活動内容、参加者数等を記入

●●体験教室…●●年度から年●●回程度実施し、延べ参加人数約●●人				
●●学習会…●●年度から年●●回程度実施し、延べ参加人数約●●人				
名 称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
●●体験教室	●月●日・ ●月●日・2回	●●人 (1回●人)	●●を体験できるプログラムを実施	
●●学習会	●～●月・●回	●●人 (1回●人)	小中学生を対象とした●●学習会	

(5) 今後の展開

申請対象年度以降の活動について、部門ごとに下記の視点から記入してください。

- ①市民事業スタンドアップ部門(将来にわたり継続して実施するための工夫。申請事業の今後の広がりや深まりを高める工夫。)
- ②市民事業スキルアップ部門(これまでの経験を活かしたスキルアップや自立化に向けた自主財源確保の工夫。申請事業の広がり等の工夫に加え、他分野の活動や他の地域等に与える効果。)

【数年後の目標】

〔スタンドアップ部門の場合〕リピーターの確保に努めるとともに、将来は●●事業も行うなど事業を発展させていきたい。

〔スキルアップ部門の場合〕●●事業のノウハウを活かし、他地域での実施やイベント出展やこれまで実施していなかった●●事業を行うなど、事業を発展・進化させていくとともに、財政基盤を整え、自立的な活動を行っていきけるよう努めていきたい。

【目標達成のためのアクション】

〔スタンドアップ部門の場合〕チラシやホームページ、タウン紙等で積極的に広報をするなど、新規参加者の掘り起こしを行なうとともに、●●事業の実施に向けた検討を重ねていく。

〔スキルアップ部門の場合〕財政基盤の確立のため、会員数の増加や参加者増に伴う参加費の増加、企業の協賛金や寄付を募るとともに、●●事業の実施に向けて、●●の調査・検討を行う。

(6) 安全面・県民へのPR

申請事業に対する安全面への配慮（講習会の受講、安全装備、保険への加入など）や申請事業の内容や成果を県民に広くPRする方法について記入してください。

【安全面への配慮】

安全に対する意識付けを行なうとともに、十分な数のスタッフを配置する。また、安全装備を備えるとともに、保険に加入するなど、安全には十分配慮して事業を実施する予定である。

【県民へのPR方法】

チラシやホームページ、タウン紙等で水源環境保全・再生施策の事業であることも積極的に広報を行うとともに、事業実施結果をホームページや地域の行事等の機会を活用しPRしていく。

記入例（調査研究事業）

※この書類は公開されます。

第8号様式(用紙 日本産業規格 A4縦長型)

申請する部門の□を塗りつぶす

事業計画書 【調査研究事業】

第1号様式に記載した正式名称を記入

団体名	特定非営利活動法人 ●●の会
申請部門	<input checked="" type="checkbox"/> 市民事業スタンドアップ部門 <input type="checkbox"/> 市民事業スキルアップ部門
調査研究テーマ	●●●●事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（申請年度の前年度に当該補助金を受けた事業である場合は黒く塗りつぶしてください。）
実施期間	令和●年●月●日～ 令和●年●月●日（計 ●回活動）
調査研究の対象とする地域	●●川上流域及び●●川上流域
参加者数(見込)	会員(●●)人 一般参加者等(●●)人 計(●●)人
資機材購入希望	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有(第9号様式に記載のとおり)

事業名を記入

実施期間は、第1号様式と同じ期間を記入。活動回数が未定の場合は、予定回数を記入。

実施場所が複数箇所にわたる場合はすべての場所を記入

活動ごとにおおよその見込み数を記入

(1) 事業目的

事業を実施する必要性や意義などを具体的に記入してください。

希望の有無を記入

●●川の水生物調査において、在来種である●●や●●の生息数減少が指摘されており、豊かな河川の指標の一つである生物多様性が損なわれているおそれがある。
 そこで、●●川の本流及び支流において、観測ポイントを●●地点設置し、水質・水量調査及び水生生物調査を実施し、飲用水・水生生物にとって良好な水質や生息環境の創出に向けた検証を行うことを目的とする。

活動予定地域における森林（河川）の現況、課題として認識している事項、課題が生じている理由、調査を実施することの必要性、周知・広報に資する取組などを具体的に記入

(2) 事業内容

申請事業の具体的内容、実施時期、やり方について、

現状の問題や課題の解決のための調査・研究内容、プロセスやスケジュールを記入

●●市●●を流れる●●川において、水質調査等を実施する。
 調査した結果を報告書として取りまとめるとともに、報告会を開催し、地域住民に広く周知する。
 その他、地域のイベント等に積極的に参加し、当会の活動内容や得られた知見を広く周知する。

名 称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
事前準備	●月～●月・●回	●●人	調査手法等を検討	
水質調査	●月～●月・●回	●●人	簡易検査キットによる調査	●●市の●●川
結果の考察	●月～●月・●回	●●人	得られたデータを分析	
報告書作成	●月～●月・●回	●●人	調査結果報告書及び水質・生き物マップを作成	報告書は●●に配布する
報告会開催	●月・●回	会員●●人 一般●●人	調査結果を市民にPRする	●●公民館を予定

(3) 水源環境の保全・再生への効果（アウトカム）

この調査研究を通じて、水源環境の保全・再生に係る問題や課題の解決に向けた対策にどのように寄与するか。課題および期待される成果を具体的に記入してください。

●●川の在来種である●●や●●の減少の原因は、水源地域における水質の悪化や流量の現象が原因となっていることが想定される。そこで、今回の調査研究により、●●川の水生生物の現状を把握するとともに、水質の悪化や流量の減少が在来種の減少を招いていることを証明したい。

この研究結果により、当該地域において、今後、どのような対策が有効かの方向性を示すことが出来ると考えている。なお、研究結果は県の研究機関へ提供する予定である。

また、調査研究結果をもとに、●●川の水質・生き物マップを作成し、県民へ調査研究結果を分かりやすくPRすることで、水源環境への関心を高める効果も期待できる。

現状の問題点や課題とその解決に向けた調査研究による効果、調査結果の活用方法を中心に具体的に記入

(4) これまでの活動実績

直近3年程度の活動内容・回数・参加者等について記入してください。

過去●●年にわたり、●●河川の調査研究を行っており、●●川の水質・水量のデータを蓄積しており、そこからは●●が読み取れる。

名 称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
水質調査	●月～●月・●回	●●人	簡易検査キットによる調査	●●市の●●川
水量調査	●月～●月・●回	●●人	●●による●●での水量調査	
報告会開催	●月・●回	会員●●人 一般●●人	調査結果を市民にPRする	●●公民館を予定

(5) 今後の展開

申請対象年度以降の活動について、部門

これまでに申請事業を実施した年数・調査・研究内容、活動日数、参加者数、調査研究の成果、等を記入

- ①市民事業スタンドアップ部門(将来にわたり継続して実施するための工夫。申請事業の今後の広がりや深まりを高める工夫。)
- ②市民事業スキルアップ部門(これまでの経験を活かしたスキルアップや自立化に向けた自主財源確保の工夫。申請事業の広がり等の工夫に加え、他分野の活動や他の地域等に与える効果。)

【数年後の目標】

〔スタンドアップ部門の場合〕まずは、パックテスト等の簡易な検査キットにより水質調査を行っていくとともに、将来は併せて生物調査を行うことで、調査研究の内容を深めていきたい。

〔スキルアップ部門の場合〕これまでのノウハウ・研究成果を踏まえ、研究機関等との共同研究の実施について、検討していく。共同研究を実施することで、研究機関から研究費を援助してもらい、補助金のみには頼らない自立した研究ができるようにしていきたい。

【目標達成のためのアクション】

〔スタンドアップ部門の場合〕現在の活動を着実に積み重ね水質調査のノウハウを蓄積していく。

〔スキルアップ部門の場合〕共同研究の実施に向け当会の活動内容や成果を積極的に広めていく。

(6) 安全面・県民へのPR

申請事業に対する安全面への配慮（講習会の受講、安全装備、保険への加入など）や申請事業の成果を県民に広くPRする方法について記入してください。

【安全面への配慮】

今年度、●●研修の受講を予定している。また、●●等の安全装備の購入及び、保険料も予算計上しており、安全には十分配慮して事業を実施する予定である。

【県民へのPR方法】

調査結果については、ホームページやSNSに掲載するほか、県の研究機関や市の博物館等へ提供する。

記入例（資機材の購入）

※この書類は公開されます。

第9号様式(用紙 日本産業規格 A4縦長型)

申請する部門の口を塗りつぶす

事業計画書 【資機材の購入】

第1号様式に記載した正式名称を記入

団体名	特定非営利活動法人 ●●の会	
申請部門	<input checked="" type="checkbox"/> 市民事業スタンドアップ部門	<input type="checkbox"/> 市民事業スキルアップ部門
事業名	●●●●事業 事業名を記入	
	<input type="checkbox"/> 継続（申請年度の前年度に当該補助金を受けた事業である場合は黒く塗りつぶしてください。）	

(1) 購入資機材

購入を希望する資機材、数量、購入予定価格を記入してください。

資機材	数量	金額
●●	●台	××,000
●●	●個	××,000

(2) 資機材による効果

購入を希望する資機材が事業実施にもたらす効果を記入してください。

現在、●haの森林の間伐をノコギリで行っているが、今後は、間伐作業を●haと増やす予定であり、間伐本数も約●●本が見込まれる。また、幹の直径も30cm程度の太いものもあり、ノコギリだけで間伐するには非常に効率が悪く、肉体的負担が増すことが想定される。そこで、チェーンソーを購入し、効果的・効率的な取組を行うことで、継続的な事業を実施が可能となる。

(3) 当補助金によるこれまでの購入実績

・平成23年度までの購入実績

資機材	数量	金額
●●	●台	××,000
●●	●個	××,000

・平成24年度以降の購入実績

資機材	数量	金額
●●	●台	××,000
●●	●個	××,000

事業収支予算書

申請部門・申請区分ごとに
いずれかの区分を記入

【 部門 申請区分】
(単位：円)

科 目	金 額	備 考
I 収入の部		
1 会費収入	××,000	
2 寄付金	××,000	
3 補助金等収入	××,000	内訳をカッコ書きで記入 第1号様式の「申請区分間 の経費配分」の申請額と同 額を記入
(1) 市民事業支援補助金	(××,000)	
(2) ○○助成金	(××,000)	
申請事業に充当する予定の他の補助金等がある場合は必ず記入		
収入合計(A)	××,000	
II 支出の部		
物品費	××,000	替刃購入費、燃料費等
交通費	××,000	電車賃
保険料	××,000	ボランティア保険
使用料及び賃借料	××,000	バス借上代等
報償・謝礼費	××,000	指導者謝礼
工事費	××,000	工事請負費・委託料
事務費	××,000	通信費・印刷費等
支出合計(B)	××,000	
収支差額(A)－(B)	0	収支差額は「0」とする

記入例（事業収支予算書支出内訳）

様式は任意です

事業収支予算書支出内訳

1. 団体名 特定非営利活動法人●●の会
 2. 申請区分 普及啓発・教育事業
 3. 支出内訳

申請区分ごとに作成してください。

費用	金額(円)	積算根拠
物品費	15,000	替刃購入費 6,000 円 (1,000 円×6 枚) ガソリン代 9,000 円 (150×60 リットル)
交通費	150,000	電車賃 135,000 円 (135 人×1,000 円) 高速通行券 15,000 円 (1,500 円×10 回)
保険料	6,000	ボランティア保険加入 (300 円×20 人)
使用料及び借 用料	40,000	バスレンタカー代 20,000 円 会議室使用料 2,000 円×10 回
報償・謝礼費	40,000	指導者謝礼 40,000 円 (20,000 円×2 回)
工事費	150,000	写真プリント制作委託費 50,000 円 (2,500×20 点) 看板作成費 一式 100,000 円
事務費	176,000	切手代 126,000 円 (@63 円×500 枚×4 回) コピー代、インク代、用紙代など 50,000 円

記入例

第11号様式(用紙 日本産業規格 A4縦長型)

団体調書

団体名称	特定非営利活動法人 ●●の会	
連絡先	氏名 ●● ●●	
申請担当者をご記入ください。 申請内容の問い合わせや2次選考等に係る連絡先となります。	住所 ●●市●●	
	電話	000-000-0000 ファクシミリ 000-000-0000
	電子メール ●●●●@●●●●●●●●	
発足年月日 (NPO法人の場合は、設立の登記年月日)	●●年●月●日	
構成員の数(会員数)	●●人(●年●月●日現在)	
役員(世話人・運営委員等)	理事長 ●● ●● 副理事長 ●● ●● 理事(会計担当) ●● ●●	定款・規約に定める役員等を記入 団体の定款・規約及び役員名簿を添付
団体の目的	●● . . .	
主な活動	●● . . .	
当該年度予算	【収入】 会費収入 ●●円 寄付金収入 ●●円 事業収入 ●●円 補助金等収入 ●●円 計 ●●円	【支出】 事業費 ●●円 管理費 ●●円 計 ●●円
申請事業を行う会計年度について、団体の全体予算(見込み)を記入	(●●年4月～●▲年3月)	
これまでの補助(助成)実績	●●補助金(●年××円) ●●市助成金(●年××円)	
他の補助金等の申請状況	●●補助金(××円) ●●市助成金(××円)	